

「一生懸命がすばらしい」



〒722-0023 広島県尾道市東則末町9番53号
E-mail: kurihara-j@onomichi.ed.jp
電話: 0848-23-3811

令和6年7月2日
発行者 栗原中学校
教頭 松浦 淳

家族で、スマホや携帯電話等の利用について考えてみましょう！

1学期の期末試験も終わり、いよいよ夏休みが近づいてきました。夏休みは、家庭で生活する時間も長く、つつい開放的になってしまいがちな時期と言えます。

本校での事例も含めて、最近の中学生がトラブルに陥りやすいスマホや携帯電話等の使い方について生徒も保護者の方も一緒に考えていきたいと思います。

例えば、本人に悪気がなくても、知らないところで情報が広まってしまい、嫌な思いをする人が出てしまうというケースもありました。

保護者の皆様におかれましても、お子様がスマホや携帯電話等を使用する際に、トラブルの加害者にも被害者にもならないように、ぜひともご家庭でしっかりと話をさせていただきたいと思います。

<「SNSを介したトラブル」の例>



◆ ネット依存・スマホ依存



ゲームや動画などが手軽に利用できる反面、次第に利用がやめられなくなり依存する場合があります。勉強が手につかず成績が低下したり、睡眠不足や視力の低下などの健康被害につながったりすることもあります。またゲームなどにハマりすぎて過度な課金をする危険性もあります。

◆ ネット被害・加害

個人情報や抜かれ迷惑メールや不正請求がくる場合があります。ウイルスに感染してスマホが正しく動作しなくなる可能性もあります。また、広く使われていて安全そうに思われるフリマアプリやオークションサイトでも偽物を買わされる被害などが起きています。何気なく撮ってアップロードした写真が、著作権や肖像権を犯してしまう危険性もあります。

◆ 人間関係トラブルへ発展

学校内外の友達などと気軽につながることができ、非常に便利になってきた反面、もしかしたら、会ったこともない人とネット上で友達になっている人もいるかもしれません。文字によるコミュニケーションは難しく、いじめや犯罪にまで発展したケースも珍しくありません。



◆ 見知らぬ人との出会い

ネットでは知らない人と簡単に出会えます。会ってもいない人に自分の情報を伝えすぎると、身元が判明したり弱みを握られたりして犯罪につながるかもしれません。年齢や身分などを偽った「なりすまし」もあるため、ネットで知り合った人を簡単に信用しないように注意喚起をする必要があります。



「家庭におけるルール」、「親子ルール」を作しましょう！

例えば・・・

- 時間を定める：「夜 21 時まで」、「1 日〇時間まで」など。
- 場所を定める：「リビングや〇〇部屋でのみ使用可能」、「風呂やトイレでは使用不可」など。
- 場面(シーン)を定める：「食事中は使用不可」、「勉強中は使用不可」など。また、「ながらスマホ禁止」など。
- 利用内容を決める：「自分や友達の個人情報をネットに書き込まない」、「誰かを誹謗中傷するような書き込みはしない」、「画像のアップロードをしない」、「面識のない人とは連絡しない」、「言葉表現に気をつける」など。



※ 子供にとって、「親に勝手に決められた」というルールではなく、時間を作って大人と子供が「一緒に考えた」ということが大事なのだと思います。まずは、なぜルールを作る必要があるのかを共有するところからはじめてみてください。

- ※ 原則、携帯電話・スマートフォン等の学校への持込は禁止です。無許可で校内に持参していた場合は、学校預かりとし、保護者に来校していただいた上での返却となります。
- ※ SNSを介したトラブルについては、学校だけでは解決しないケースも多く、また、犯罪行為にあたる場合もありますので、警察と連携した対応となります。

English Salon 開催！

「ドンマイ!」、「ナイス!」、「サンキュー!」



みなさんは、日頃どんな英語を使っていますか？
今年度、尾道市教育委員会の施策の1つに、英語教育の充実があげられます。

本校でも、英語を身近に感じることができる取組の一環として、「わくわく English Project」に取り組みます。

1 ねらい

- (1) 生徒が英語に慣れ親しむ環境を校内でつくる。
- (2) 英語や学習に対して前向きになれるようにする。

2 活動内容

(1) アレクサ RADIO(レディオ)

- ・毎週月曜日 12:50~13:00 (5~10分間)
- ・放送により、ALT のアレクサ先生が英語で話題を提供する。

(2) English Salon

- ・毎週月曜日 13:05~13:15
- ・2階英語教室を開放し、アレクサ先生と自由に対話をする場を設ける。また、ショートムービーを見たり、洋楽を聴いたりするなど、楽しみながら英語に触れる機会を設ける。



※ ぜひとも、各ご家庭でも、意識して英語に触れる機会を増やしてみてください！